



トライ

発行責任者

寺田 安広

修学旅行 ①

5月18日（水）～20日（金）の日程で、長野県の白馬方面に修学旅行に行ってきました。

1年生の時は一泊移住が、2年生の時にはコリアタウン校外学習が、それぞれコロナの流行のために中止になってしまった76期生。3年生になって、昨年先生たちが行った下見のときの写真や映像を見たり、部屋割りやバスの座席を決めたり、選択別体験を何にしようか考えたり・・・などしながら、この修学旅行は絶対に実現させたいというみなさんの思いがひしひしと伝わってくる毎日でした。



幸いゴールデンウィークを過ぎてもコロナの感染状況は落ち着いていて、ついに出発の朝を迎えました。

天気は、3日間晴れの予報です。7:00という早朝の集合にもかかわらず、遅刻した人はいません。みなさんの気合いが感じられますね。

出発式を終え、7:30にバスは出発。早朝からお見送りに来ていただいた保護者の方々、ありがとうございました。

京都付近で渋滞があったので、予定が少し遅れ気味に。そして添乗員さんから「車酔いのきつい子がいるバスがあって、そのバスはちょっとずつ休憩しながら進みます。」という連絡が。他のバスにも車酔いで苦しんでいる人がちらほらいるそうです。長い道中なので、何とか頑張ってください。

1回目の休憩の多賀SAでは20分ほど遅れていましたが、2回目の休憩場所・恵那峡SAでは5分遅れに戻しました。ここでお昼ごはんを食べます。こんなふうにみんなで円になってお弁当を食べたりするのも、中学生になって初めてですね！でも、マスクをはずしての会話は控えてください。



昼食後、再び出発。長～い「恵那山トンネル」を抜けると、長野県に入り、日本アルプスが見えてきました。山頂付近にはまだ雪が残っています。車内からは、「きれい～！」という声も。到着まであと少しですね。

3 回目の休憩・梓川SAを出発すると、すぐに高速道路をおりて一般道へ。1 時間ほど走って、ほぼ時間通りの 15:00 過ぎについに到着。入村式を終え、各民泊に分かれて「お願いします！」。

みなさん元気よくあいさつできていましたが、表情はちょっと緊張気味。さて、どんな体験ができるのでしょうか？ 【続く】

（心配だった遅れていたバスも45分遅れで到着し、入村式はせずにそのまま各民泊に分かれましたので、30分ぐらいの遅れで活動を始めることができました😊）



修学旅行の感想 ①

★修学旅行に行く前日は全く実感がなかったけど、当日になるとすごくワクワクしていました。行く前、親がいつもよりさみしそうに「いってらっしゃい。」と言ってたけど、私はいつも通り「いってきます。」と言いました。行きのバスでは、後ろとか横の男女でカードゲームをしたりして、今までよりももっと距離が近くなりました！こんな序盤で仲良くなれるとは思っていなかったの、ちょーうれしかったです！ずっとバスにおりたかったぐらい楽しかったです。民泊では、どんな感じが全く想像できてなかったけど、夕方には「ただいまです」って家のように過ごしていました。この日は終わるのが早すぎて寝たくなかったです。

2 日目は退村式をし、選択別体験をして、帰りのバスではねむたすぎました。

3 日目の朝は修学旅行が今日で終わりと思うと、起きたくなかったです。ナガスパに着いて、他のクラスの子といろんな所に行って、久しぶりの遊園地が最高に楽しかったです。帰りのバスは、「渋滞になれ！」とか思ってたらずすぐに学校に着いてるかったです。全部楽しすぎて、うれしかったです。

（1 組 ●● ●●）

★修学旅行は思い出にあふれています。1 日目、長野までのバスでの移動。大富豪で揃ってだまして勝ったあの快感が忘れられません。宿に着いたら班のみんなで宿の人の農作業を手伝いました。初めての体験が多く、楽しかったです。夜は楽しいバーベキュー。畑でとれた新鮮な野菜がみずみずしくて、とてもおいしかったのをよく覚えています。バーベキューのあまりを1人で夜食として食べたのですが、その時の味が忘れられません。

2 日目、アイスがおいしかったな～。

3 日目、あっという間に修学旅行の最終日かと落ち込んだ気がします。ナガシマスパーランドでは、はきそうになるまでアトラクションにぐるぐる回された後に食べたターキーの味は一生忘れません。バスでの帰りに見たミニオンズは笑い・感動を私たちに届けてくれました。考えさせられたような気がします。

（1 組 ●● ●●）